2027年３月期　第２四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年11月13日

上 場 会 社 名	和弘食品株式会社	上場取引所	東・札
コ ー ド 番 号	2813	URL	http://www.wakoushokuhin.co.jp/
代　　表　　者	（役職名） 代表取締役社長CEO	（氏名）	加世田　十七七
問合せ先責任者	（役職名） 常務取締役	（氏名）	藤井　一真　　TEL　0134(62)0505
半期報告書提出予定日	2026年11月13日	配当支払開始予定日	―

決算補足説明資料作成の有無　　：有
決算説明会開催の有無　　：無

（百万円未満切捨て）

１．2027年３月期第２四半期（中間期）の連結業績（2026年４月１日～2026年９月30日）

（１）連結経営成績(累計)

（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年３月期中間期	8,729	8.6	578	24.3	589	24.1	407	24.3
2026年３月期中間期	8,035	3.6	465	△26.8	475	△26.7	328	△32.1

（注）包括利益　2027年３月期中間期　423百万円（△36.4%）　2026年３月期中間期　665百万円（△15.2%）

	１株当たり中間純利益	潜在株式調整後１株当たり中間純利益
	円　銭	円　銭
2027年３月期中間期	163.47	―
2026年３月期中間期	131.64	―

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年３月期中間期	17,197	10,495	61.0
2026年３月期	16,506	10,316	62.5

（参考）自己資本　2027年３月期中間期　10,495百万円　　2026年３月期　10,316百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円　銭	円　銭	円　銭	円　銭	円　銭
2026年３月期	―	0.00	―	100.00	100.00
2027年３月期	―	0.00			
2027年３月期(予想)			―	110.00	110.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

３．2027年３月期の連結業績予想（2026年４月１日～2027年３月31日）

（%表示は、通期は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円　銭
通期	18,423	6.2	1,546	△1.3	1,541	△3.5	1,129	△2.1	452.54

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

※　注記事項

（１）当中間期における連結範囲の重要な変更　：　無

（２）中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用　：　無

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　：　無

②　①以外の会計方針の変更　：　無

③　会計上の見積りの変更　：　無

④　修正再表示　：　無

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	2027年３月期中間期	2,847,957株	2026年３月期	2,847,957株
②　期末自己株式数	2027年３月期中間期	351,502株	2026年３月期	352,849株
③　期中平均株式数（中間期）	2027年３月期中間期	2,495,599株	2026年３月期中間期	2,493,402株

※　第２四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（業績予想の適切な利用に関する説明）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料３ページ「１．経営成績等の概況（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（決算補足説明資料の入手方法）

決算補足説明資料は、TDnetで2026年11月13日（金）に開示し、同日当社ウェブサイトに掲載いたします。

○添付資料の目次

１．経営成績等の概況 …… 2
（１）当中間期の経営成績の概況 …… 2
（２）当中間期の財政状態の概況 …… 2
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 3
２．中間連結財務諸表及び主な注記 …… 4
（１）中間連結貸借対照表 …… 4
（２）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書 …… 6
（中間連結損益計算書） …… 6
（中間連結包括利益計算書） …… 7
（３）中間連結キャッシュ・フロー計算書 …… 8
（４）中間連結財務諸表に関する注記事項 …… 9
（追加情報） …… 9
（セグメント情報等の注記） …… 10
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 11
（継続企業の前提に関する注記） …… 11

１．経営成績等の概況

（１）当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善を背景に緩やかな回復基調で推移したものの、エネルギー価格や原材料価格の高止まりに加え、金利や為替相場の変動、海外経済の不確実性等による影響が懸念されるなど、先行きは不透明な状況が続いております。

調味料業界におきましては、原材料価格の高騰、エネルギーコストの上昇が継続しており、事業を取り巻く環境は依然として厳しい状況にあります。一方北米市場におきましては、ラーメン市場の拡大に加え、日本食の浸透が進展していることを背景に、業務用調味料及びスープ製品に対する需要は引き続き堅調に推移いたしました。

このような状況のもと、当社グループは2026年度からスタートした中期経営計画「The Glocal Engine」に基づき、「ワールドワイドへの展開加速」「独自価値の創出・強化」「国内収益の拡大体制構築」「グローバル全体での組織基盤強化」及び「新領域への進出」の５つの成長戦略を柱として、持続的な成長と企業価値向上に向けた施策を推進してまいります。

①　売上高

売上高は8,729百万円(前年同期比8.6%増)となりました。

日本セグメントにおいては、外食向けの販売が好調であったことにより、売上高は6,651百万円(同5.1%増)となりました。

米国セグメントにおいては、当社顧客層である外食レストラン等からの受注増加により、売上高は2,178百万円(同19.4%増)となりました。

②　営業損益

営業利益は578百万円(同24.3%増)となりました。

日本セグメントにおいては、売上高が増加したこと等により、営業利益は155百万円(同24.3%増)となりました。

米国セグメントにおいては、売上高が増加したこと等により、営業利益は396百万円(同11.2%増)となりました。

③　経常損益

経常利益は589百万円(同24.1%増)となりました。

日本セグメントにおいては、営業外収益において受取配当金が減少したこと等により経常利益は556百万円(同0.6%減)となりました。

米国セグメントにおいては、営業利益の増加に伴い、経常利益は419百万円(同11.6%増)となりました。

④　親会社株主に帰属する中間純損益

親会社株主に帰属する中間純利益は407百万円(同24.3%増)となりました。

日本セグメントにおいては、経常利益の減少に伴い、中間純利益は492百万円(同2.4%減)となりました。

米国セグメントにおいては、営業利益の増加に伴い、中間純利益は307百万円(同11.3%増)となりました。

この結果、当中間連結会計期間における１株当たり中間純利益は163円47銭となりました。

（２）当中間期の財政状態の概況

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当中間連結会計期間末における資産の残高は、前連結会計年度末に比べ690百万円増加し17,197百万円(前連結会計年度比4.2%増)となりました。これは主に流動資産が591百万円増加、投資その他の資産が94百万円増加したこと等によるものです。

(負債)

当中間連結会計期間末における負債の残高は、前連結会計年度末に比べ511百万円増加し6,702百万円(同8.3%増)となりました。これは主に未払法人税等が129百万円、賞与引当金が81百万円、長期借入金が64百万円減少し、短期借入金が800百万円増加したこと等によるものです。

(純資産)

当中間連結会計期間末における純資産の残高は、前連結会計年度末に比べ178百万円増加し10,495百万円(同1.7%増)となりました。これは主に親会社株主に帰属する中間純利益407百万円、その他有価証券評価差額金が98百万円増加、配当金の支払額249百万円によるものです。

②キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ452百万円増加し3,481百万円となりました。

当中間連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当中間連結会計期間の営業活動によるキャッシュ・フローは、前年同期に比べて384百万円多い493百万円の収入となりました。

これは主に税金等調整前中間純利益584百万円、減価償却費264百万円の計上、売上債権の増加242百万円、棚卸資産の減少139百万円、法人税等の支払額212百万円によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当中間連結会計期間の投資活動によるキャッシュ・フローは、前年同期に比べて369百万円支出が減少し411百万円の支出となりました。

これは主に有形固定資産の取得による支出315百万円、無形固定資産の取得による支出80百万円によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当中間連結会計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは、前年同期に比べて798百万円収入が増加し396百万円の収入となりました。

これは主に短期借入金による収入800百万円、長期借入金の返済による支出126百万円、配当金の支払249百万円によるものです。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年５月15日に公表いたしました2027年３月期通期の連結業績予想に現在のところ変更はありません。

２．中間連結財務諸表及び主な注記

（１）中間連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2026年３月31日)	当中間連結会計期間 (2026年９月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,028,867	3,481,648
受取手形及び売掛金	2,335,525	2,572,416
商品及び製品	1,403,807	1,201,673
仕掛品	23,158	13,821
原材料及び貯蔵品	870,429	929,512
その他	227,495	279,678
貸倒引当金	△2,114	△547
流動資産合計	7,887,169	8,478,204
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,909,773	1,886,101
機械装置及び運搬具（純額）	1,222,263	1,294,144
使用権資産（純額）	949,585	899,128
土地	1,595,990	1,629,444
建設仮勘定	385,033	318,782
その他（純額）	75,665	77,599
有形固定資産合計	6,138,311	6,105,200
無形固定資産	150,106	188,264
投資その他の資産		
その他	2,336,984	2,429,456
貸倒引当金	△5,829	△3,595
投資その他の資産合計	2,331,154	2,425,860
固定資産合計	8,619,572	8,719,325
資産合計	16,506,742	17,197,530
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,233,430	1,217,717
短期借入金	1,500,000	2,300,000
１年内返済予定の長期借入金	235,164	173,394
未払法人税等	161,337	32,324
賞与引当金	339,408	257,429
その他	692,763	692,867
流動負債合計	4,162,103	4,673,732
固定負債		
長期借入金	433,341	368,949
リース債務	961,170	916,210
役員退職慰労引当金	244,038	257,585
執行役員退職慰労引当金	9,221	10,204
資産除去債務	33,181	33,245
その他	347,499	442,546
固定負債合計	2,028,452	2,028,740
負債合計	6,190,556	6,702,473

（単位：千円）

	前連結会計年度 （2026年３月31日）	当中間連結会計期間 （2026年９月30日）
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,413,796	1,413,796
資本剰余金	1,423,302	1,427,969
利益剰余金	5,546,671	5,705,123
自己株式	△210,405	△209,757
株主資本合計	8,173,364	8,337,132
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	987,883	1,086,149
為替換算調整勘定	1,154,938	1,071,774
その他の包括利益累計額合計	2,142,821	2,157,924
純資産合計	10,316,186	10,495,056
負債純資産合計	16,506,742	17,197,530

（２）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

（中間連結損益計算書）

（単位：千円）

	前中間連結会計期間 （自　2025年４月１日 至　2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自　2026年４月１日 至　2026年９月30日）
売上高	8,035,548	8,729,584
売上原価	5,865,297	6,322,570
売上総利益	2,170,250	2,407,014
販売費及び一般管理費	1,704,669	1,828,349
営業利益	465,581	578,664
営業外収益		
受取利息	10,208	12,961
受取配当金	2,971	10,975
受取賃貸料	428	223
為替差益	3,290	－
受取保険金	133	936
デリバティブ利益	5,883	7,047
その他	4,421	7,121
営業外収益合計	27,337	39,264
営業外費用		
支払利息	13,975	18,984
為替差損	－	5,299
その他	3,935	4,007
営業外費用合計	17,911	28,291
経常利益	475,007	589,637
特別利益		
固定資産売却益	1	－
投資有価証券償還益	4,992	－
特別利益合計	4,993	－
特別損失		
固定資産除却損	6,963	4,712
特別損失合計	6,963	4,712
税金等調整前中間純利益	473,036	584,924
法人税、住民税及び事業税	109,594	88,689
法人税等調整額	35,219	88,272
法人税等合計	144,814	176,962
中間純利益	328,222	407,962
親会社株主に帰属する中間純利益	328,222	407,962

（中間連結包括利益計算書）

（単位：千円）

	前中間連結会計期間 （自　2025年４月１日 至　2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自　2026年４月１日 至　2026年９月30日）
中間純利益	328,222	407,962
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	387,114	98,266
為替換算調整勘定	△49,871	△83,163
その他の包括利益合計	337,243	15,102
中間包括利益	665,465	423,065
（内訳）		
親会社株主に係る中間包括利益	665,465	423,065
非支配株主に係る中間包括利益	－	－

（３）中間連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前中間連結会計期間 （自　2025年４月１日 至　2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自　2026年４月１日 至　2026年９月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	473,036	584,924
減価償却費	223,154	264,450
貸倒引当金の増減額（△は減少）	198	△3,800
賞与引当金の増減額（△は減少）	△80,341	△81,437
退職給付に係る資産の増減額（△は増加）	△14,521	△15,575
役員退職慰労引当金の増減額（△は減少）	12,951	14,103
受取利息及び受取配当金	△13,180	△23,936
受取保険金	△133	△936
為替差損益（△は益）	△3,888	1,589
デリバティブ損益（△は益）	△5,883	△7,047
支払利息	13,975	18,984
有形固定資産売却損益（△は益）	△1	－
固定資産除却損	6,963	4,712
売上債権の増減額（△は増加）	△165,156	△242,050
棚卸資産の増減額（△は増加）	△224,561	139,123
仕入債務の増減額（△は減少）	62,681	△14,863
投資有価証券売却損益（△は益）	△4,992	－
未収入金の増減額（△は増加）	11,988	△5,288
長期前払費用の増減額（△は増加）	436	△2,834
未払金の増減額（△は減少）	△9,314	△3,373
未払消費税等の増減額（△は減少）	3,468	31,098
その他	64,138	50,140
小計	351,018	707,984
利息及び配当金の受取額	21,664	24,794
保険金の受取額	133	936
利息の支払額	△21,213	△28,319
法人税等の支払額	△242,351	△212,032
営業活動によるキャッシュ・フロー	109,250	493,363
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△746,920	△315,497
有形固定資産の売却による収入	1	－
無形固定資産の取得による支出	△21,873	△80,047
投資有価証券の取得による支出	△930	△948
投資有価証券の売却による収入	8,000	－
投資その他の資産の増減額（△は増加）	△18,909	△14,948
投資活動によるキャッシュ・フロー	△780,633	△411,442
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	－	800,000
長期借入金の返済による支出	△126,162	△126,162
リース債務の返済による支出	△33,475	△27,144
自己株式の取得による支出	－	△183
配当金の支払額	△241,756	△249,510
財務活動によるキャッシュ・フロー	△401,394	396,999
現金及び現金同等物に係る換算差額	△36,662	△26,138
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△1,109,440	452,781
現金及び現金同等物の期首残高	3,499,210	3,028,867
現金及び現金同等物の中間期末残高	2,389,769	3,481,648

（４）中間連結財務諸表に関する注記事項

（追加情報）

（譲渡制限付株式報酬制度）

当社は、2021年６月24日開催の第58回定時株主総会の決議により、当社の社外取締役を除く取締役（以下「対象取締役」という。）に対して当社の企業価値の持続的な向上を図るインセンティブを与えるとともに、株主の皆様との一層の価値共有を進めることを目的として、対象取締役を対象とする新たな報酬制度として、譲渡制限付株式報酬制度を導入しております。

なお、2026年６月24日開催の当社取締役会において決議した譲渡制限付株式報酬の割当として2026年７月23日に自己株式1,394株の処分を実施しております。

（セグメント情報等の注記）

Ⅰ　前中間連結会計期間(自　2025年４月１日　至　2025年９月30日)

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント			調整額	合計
	日本	米国	計		
売上高					
外部顧客への売上高	6,210,789	1,824,759	8,035,548	－	8,035,548
セグメント間の内部売上高又は振替高	118,811	－	118,811	△118,811	－
計	6,329,600	1,824,759	8,154,359	△118,811	8,035,548
セグメント利益	125,296	356,961	482,257	△16,676	465,581

（注）１．調整額の内容は以下のとおりであります。

セグメント利益

（単位：千円）

セグメント間取引消去	537
棚卸資産の調整額	△17,213
合計	△16,676

２．セグメント利益は、中間連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ　当中間連結会計期間(自　2026年４月１日　至　2026年９月30日)

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント			調整額	合計
	日本	米国	計		
売上高					
外部顧客への売上高	6,550,599	2,178,985	8,729,584	－	8,729,584
セグメント間の内部売上高又は振替高	101,109	－	101,109	△101,109	－
計	6,651,709	2,178,985	8,830,694	△101,109	8,729,584
セグメント利益	155,800	396,896	552,696	25,967	578,664

（注）１．調整額の内容は以下のとおりであります。

セグメント利益

（単位：千円）

セグメント間取引消去	483
棚卸資産の調整額	25,483
合計	25,967

２．セグメント利益は、中間連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。